

平和のために語り継いでいく。

広島教会 岸田州代さん

岸田州代さんは、NPO法人「ヒロシマ宗教協力平和センター(HRCP)」の一員。平成19年から被爆体験を語る活動を行なっている。しかし当初は、自身が原爆症に苦しんだこともなく、両親が健在で不自由なく生活を送っていたことから、被爆体験を語る資格があるのかという悩みを抱えていた。また、緊張してうまく話すことができないことから、迷いと後悔の念を強くしていった。そんなとき、共に活動していた仲間から「岸田さんにしか語り継げないものがあるはず。自身の体験ももちろん、身近にいたご主人やお母さんの気持ちに思いを馳せてみては」と助言を受けた。そして、夫や母の人生を振り返ると、「自分がいま生かされている不思議さをかみしめ、亡くなった人たちの思いを伝えていくのが私の使命ではないか」という思いが芽生えた。数年前からは広島市が認定する被爆者体験証言者に登録し、より多くの平和学習会で体験を語るようになった。そこには、以前のような迷いを抱きながら話す姿はない。その姿にふれた長女は、被爆体験伝承者の勉強をはじめたという。「戦争を知らない娘が、平和を訴えてくれることは喜びです」と岸田さんは相好を崩す。



地域の人びとと共に、幸せに

多くの方のおかげさまで、本会は今年、創立八十年を迎えました。まだまだ浅い歴史ではあります。そのなかで、いまから三十年前に、本会の開祖・庭野日敬がつぎのように述べています。

「究極の目標は世界人類の救済にあらうとも、あくまでも身辺のことをおろそかにせず、まず目の前の一人を救い、おのれの家庭を調え、地域社会の浄土化へ進むという、着実な歩みも忘れてはならない」

「地域社会の浄土化」とは、そこに住む一人ひとりが、自分の幸せだけでなく、地域の安寧やみんなの幸せという、いわば公のことに意識を向けながら、生活の一つをおろそかにしないで明るい家庭を築いているということです。

自分の住む地域のために力を尽くし、隣近所に困っている人がいれば寄り添い、悩みがあると聞けば話をよく聞かせていただく。もし暗い表情をして沈んでいる人がいたら、その心に一灯を点じて笑顔を取り戻し、地域全体を明るく照らしていくのが信仰をもつ私たちの精進であり、役割だと思っております。

立正佼成会

www.kosei-kai.or.jp Eメール：info@kosei-kai.or.jp
〒166-8537 東京都杉並区和田2丁目11番1号 TEL.03-5341-1615

創立  周年